

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 入居者個別に担当職員を決めて本人や家族、ケアマネをはじめ他の職員とモニタリングを行い計画に反映しているが入居期間の長い方や個別の様々な状況から出来ないことの把握が余計にやりたいことを否定する材料となり本人の	出来る・出来ないの判断よりも、やりたい事や、やってみたい事に挑戦する事ができる。またはやりたくても出来なくなってきた事を継続することができるように支援していきたい。	本人の思いの抽出を最優先とするにあたり、普段からの関係づくり及び、職員側の判断基準を「できる・できない」を廃止「やりたい・やりたいけどできない・やりたくない」に変更して可能性を否定しない意識づくりをしていく	12ヶ月
2	8	○利用者同士の関係の支援 家事を中心に共同生活を行って行く中で、入居者が主体性を発揮しながら積極的に参加できる工夫を試みているが、どうしても職員の無駄な介入が依然としてみられているため、それを減らしていきたい。	一日の流れや業務が順調に進むことへの意識がどうしても残っているため声掛けという指示・誘導ではなく、見守りや環境づくりで自発的に参加できる空間づくりに取り組みましょう	入居者同士で役割分担が自然と出来てきて、入居者同士で指摘したり、協力したりしていることを尊重しながら声掛けで介入しなくても出来る環境づくりに取り組みます(物品、配置、導線の見直しなど)(職員の声掛けの仕方、見守り方の見直し)	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。